

改編し、九名からなる新委員会（委員長／草間 悟、副委員長／開原成允、委員／木村邦彦・桜井治彦・里村洋一・島田 馨・杉本恒明・脊山洋右・平野修助）を発足した。

新委員会は一九八九年二月二十日に第一回を開催し、コンピュータ入力済の医学用語のデータベースの補完体制の具体化を図りつつある。また、医学用語辞典（和欧・欧和版）の刊行については、南山堂・大日本印刷KKとのあいだで業務が進んでいる。

六 認定医制についての三者懇談会

すでに四〇に近い分科会が進めている認定医制を社会に受容される形態に調整するために、日本医学会会長が要請して、日本医学会・日本医師会・学会認定医制協議会の三者懇談会を開催して努力をこらしている。第一回は一九八七年八月二十六日に開催し、一九八八年十二月二十二日で第五回を数えた。現段階では、一、各学会の認定医を公的に承認するための第三者機関を設けること、二、医師の加齢による経験に基づく認定について、何等かの方策をとること、三、認定医・専門医制の広報を広く行うこと、四、認定医と診療科名の表示については、とくに、「診療科名等の表示に関する検討会報告書」（一九八八年二月九日）の内容を、厚生省において充分に尊重することが主題となっている。

七 著作権について

学術文献の著作権を確立して保護すべきであるとして、複写権センターの設置の動きが急速におきている。

日本医学会としては、各分科会の機関誌に関する問題であるので、関心が深い。学協会を通じての著作権の譲渡について、また、著作権者からの複写権の委任および複写権センターの運営について、なお懸念があるので、協議会において慎重に検討中である。

八 医学教育関係

日本医学会長の要請に基づき、日本医師会は、一九八九年度から医学教育委員会を大幅に改組することを予定している。日本医学会はこれに参加するとともに、医学賞・医学研究助成費の審査については、日本医学会が医学賞・医学研究助成費選考委員会を発足し、全面的に引き受けることになった。

日本医史学会関西支部

平成元年春季大会

京都医学史研究会 共催

とき 平成元年六月二十五日（日）午前十時から

ところ 京都市左京区吉田河原町一五一九

京大会館一階（電話 〇五（七五）八三三）

会場費 五〇〇円

プログラム

開会のことば……………長門谷洋治

一 近世京都の「癩」病人について……………

……………横田 則子 (立命館大学)

二 幕府典薬頭について……………宗田 一 (京都市)

三 福井藩解剖の遠因の探求—解体新書・重訂解

体新書(吉雄氏)の考察—

……………岩治 勇一 (大野市)

四 砂千代姫君様拝診御用留記

— 彦根藩医三浦太仲尚賢の記録—

……………正橋 剛二 (富山市)

五 明治期の大阪で発行された医事雑誌……………篠原 治道 (富山医薬科大)

六 佐伯理一郎『普通看病学』について……………寺畑 喜朔 (金沢医大)

七 種痘のイギリスから東アジアへの伝播……………長門谷洋治 (豊中市)

八 『西説内科撰要』の刊行について……………石田 純郎 (三菱水島)

九 浅田宗伯筆写『医心方』について……………古西 義曆 (大阪市立此花図書館)

一〇 戦後京都におけるじん肺対策について……………杉立 義一 (京都市)

……………乾 修然 (京都市)

二 ヨンケルとその周辺……………奥沢 康正 (京都市)
三 追悼・緒方富雄先生……………有 志
三 報告と招待……………有 志

京都医学史研究会、北陸医学史同好会、医学切手友
の会関西支部、第九一回日本医学史学会総会(岡山)、
日蘭修好三八〇周年記念行事、医学史研究会、日本
医学史学会関西支部など

二四 医学史関係資料展示……………有 志
会員が、それぞれ手近にある資料、自著、文献等の
展示および解説を行った。

特別講演

中国古代医学と哲学……………村上 嘉實 (元関西学院大学教授)

閉会のことば……………杉立 義一

懇親会

例会記事

一月例会 平成元年一月二十一日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室
(蘭学資料研究会と合同で行われた)

一 河口信順が古河藩に帰って伸びられなかった理由……………川島 恂二